



ザフト 中・長距離戦闘用試作型モビルスーツ
GAT-X103
 バスターガンダム
 1/100スケール マスターグレードモデル



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。 ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。
 ※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をお勧めします。 ※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

バスターガンダム

- | | | | |
|--|---|--|---|
| | 本体等 ホワイト部
ホワイト(95%)+ライトブラウン(5%)
+イエロー(少量)+グレー(少量) | | バックパック等 グレー部
グレー(80%)+ブラック(20%) |
| | 胸等 グリーン部
グリーン(70%)+インディブルー(20%)
+ブラック(10%)+ホワイト(少量) | | メインカメラ センサー等 クリアグリーン部
クリアグリーン(100%) |
| | 肩、ヒザ等 レッド部
シャインレッド(60%)+ホワイト(20%)
+イエロー(20%)+グレー(少量) | | |

ディアッカ・エルスマン

- | | | | |
|--|--|--|--|
| | 顔等 肌色部
薄茶色(90%)+ウッドブラウン(10%) | | パイロットスーツ ホワイト部
ホワイト(100%)+パープル(少量) |
| | 髪 イエロー部
ホワイト(75%)+イエロー(15%)
+薄茶色(10%) | | 軍服、パイロットスーツ共用 レッド部
ワインレッド(100%)+ブルー(少量)
+ブラック(少量) |
| | 軍服、ブーツ等 ホワイト部
ホワイト(95%)+グレー(5%) | | 軍服、パイロットスーツ共用 イエロー部
オレンジイエロー(100%) |
| | 軍服 ダークグレー部
ブラック(70%)+ホワイト(30%) | | |

ワンポイントステップ

ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。



GAT-X103 BUSTER GUNDAM



© 創通・サンライズ



ザフト 中・長距離戦闘用試作型モビルスーツ
GAT-X103 バスターガンダム
 1/100スケール マスターグレードモデル

BANDAI 2012 MADE IN JAPAN
 本商品の完成品は箱封してあります。取扱いと商品とは、多少異なりますのでご了承ください。



0177903

地球連合軍によるMSの開発 —5機の「G」の誕生

モビルスーツと呼ばれる人型兵器を戦場に投入したザフト。これに対し、物量で秀でていた地球連合は劣勢を強いられることになった。地球連合でもモビルスーツの必要性が叫ばれ、その開発が進められることとなる。やがて、オーブ連合首長国所有の中立コロニー・ヘリオポリスを舞台に5機の試作機が完成。そのうちの1機であるGAT-X103 バスターは、砲撃系に特化した機能を付加され完成した。本機は、戦艦に匹敵する破壊力を有する。

▶350mmガンランチャー、94mm高エネルギー収束火線ライフルという、それぞれに特性の異なる2タイプの兵器を装備した砲撃戦仕様の機体。その火力は戦艦にも匹敵する。



▲地球に降下後は、MS支援空中機動飛行体「グール」などを用いることで、行動半径と運用性を大幅に拡大させた。



■GAT-X103 バスターガンダム

武装や機構などによって、機能特化を果たした機体群



■GAT-X105 ストライクガンダム

■GAT-X303 イーゼスガンダム

STORY GUIDE (ストーリーガイド)

異なる立場で戦場に臨んだ、バスターの戦い

ヘリオポリス以降、アークエンジェルを追撃したバスターだが、マーシャル諸島での戦闘で中破する。アークエンジェルに接収されたバスターは、オーブ防衛戦に参加。コロニー・メンデルではかつての僚機であったデュエルと対峙している。そして、第二次ヤキン・ドゥーエ攻防戦においてプロヴィデンスと戦い、大破、その役目を終えた。



◀地球に降下したのちは「砂漠の虎」と、アンドリュー・バルトフェルドの指揮下で戦闘を行っている。

▶第二次ヤキン・ドゥーエ攻防戦で大破している。しかし、レイダーを撃破したという説もある。

バスターの血統を受け継ぐ砲撃戦仕様機

中・近距離にも対応した、砲撃戦仕様機

高い汎用性を持つMSは、装備形態によって様々な任務に対応した。砲撃戦仕様もそのうちのひとつである。そのためバスターの設計思想を受け継いだ機体が多数開発され、その威力はC.E.の戦場で発揮されたのである。



◀砲撃戦仕様機は第2期GATシリーズにも見られ、GAT-X131 カラミティが開発されている。



GAT-X103AP フェルトバスター
バスターをベースにファントムベインが開発した機体。両肩の火砲に加え、両腰に銃剣付きのビームライフルを装備する。

GAT-A01/E2 バスターダガー

バスターの量産機。両肩のミサイルポッドが3連装となっているが、バスターにはなかったビームサーベルを装備する。

PILOT (パイロット)

ディアッカ・エルスマン

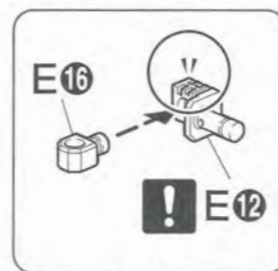
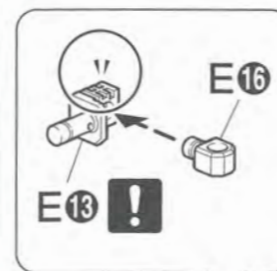
アスランやイザークたちと同じクルーゼ隊の隊員。皮肉屋だが、実際は面倒見がよく、激昂しやすいイザークの宥め役でもあった。アークエンジェルの捕虜となって以降は、キラと共闘した。



組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。



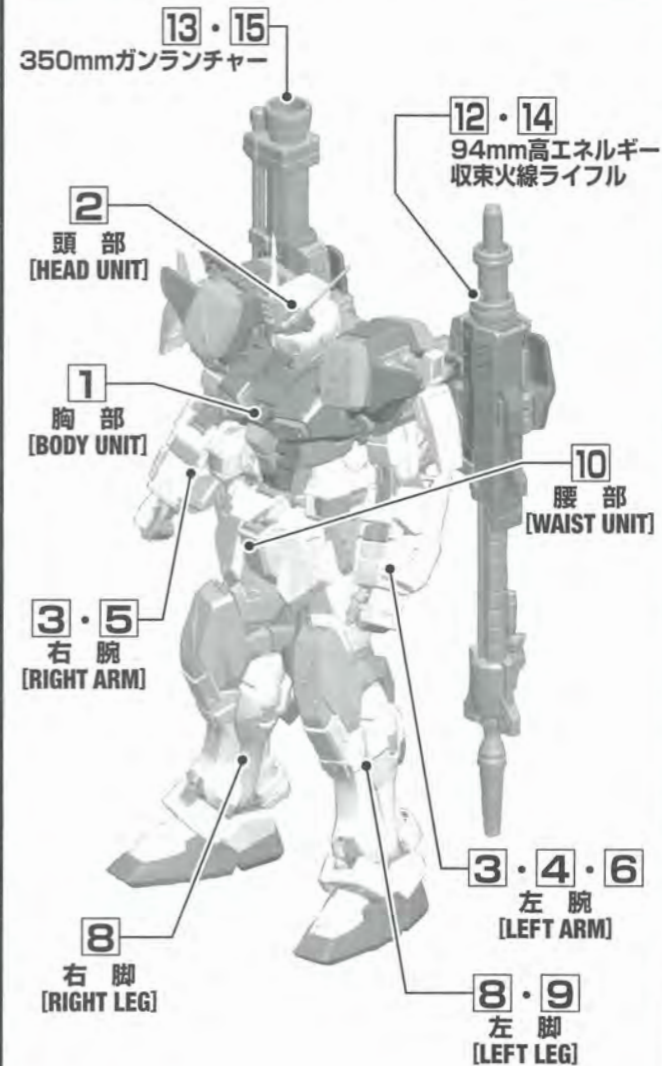
②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。



※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう



13・15 350mmガンランチャー

12・14 94mm高エネルギー収束火線ライフル

2 頭部 (HEAD UNIT)

1 胸部 (BODY UNIT)

3・5 右腕 (RIGHT ARM)

8 右脚 (RIGHT LEG)

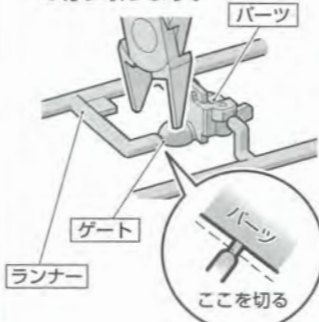
10 腰部 (WAIST UNIT)

3・4・6 左腕 (LEFT ARM)

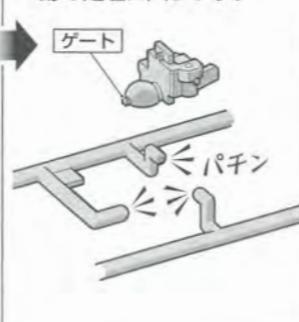
8・9 左脚 (LEFT LEG)

パーツの切り取りかた

①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。



③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

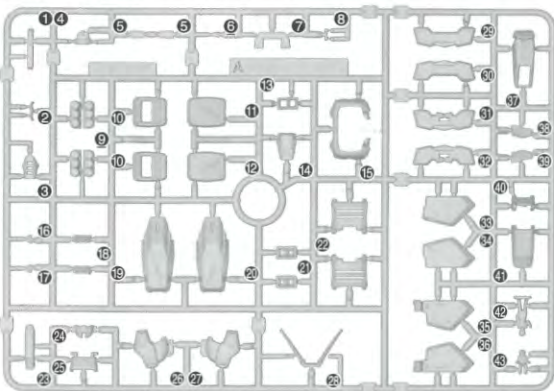
〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
 - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
 - 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
 - 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
 - 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

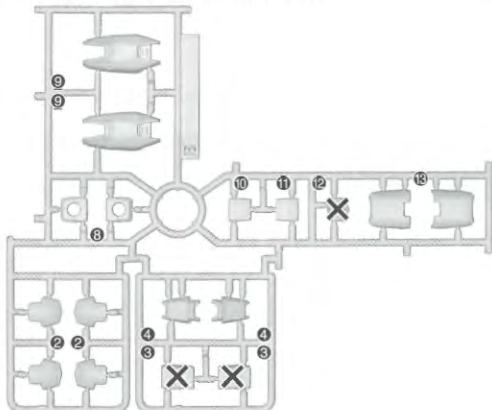
パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

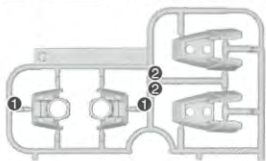
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



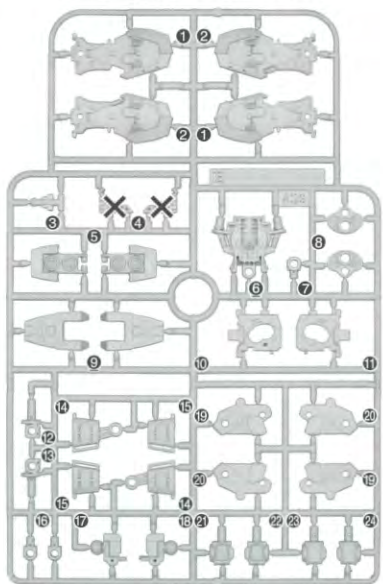
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



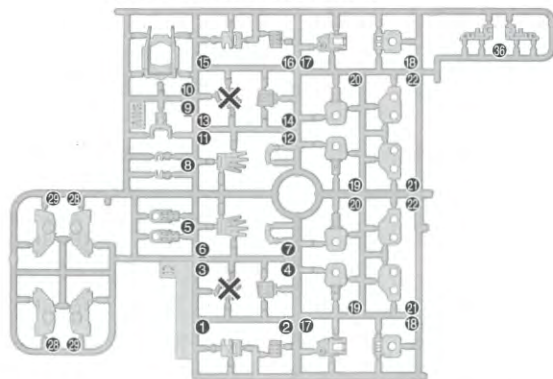
Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



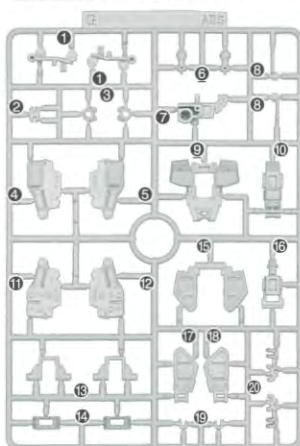
Eパーツ (ABS樹脂: ABS)



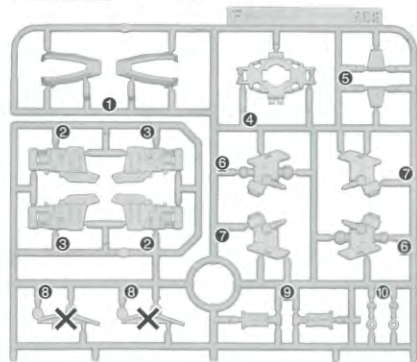
Dパーツ (ABS樹脂: ABS)



Gパーツ (ABS樹脂: ABS)

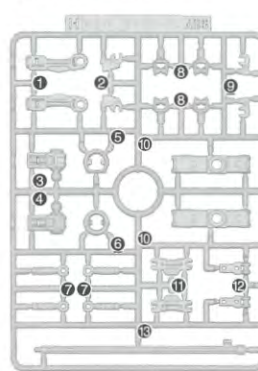


Fパーツ (ABS樹脂: ABS)



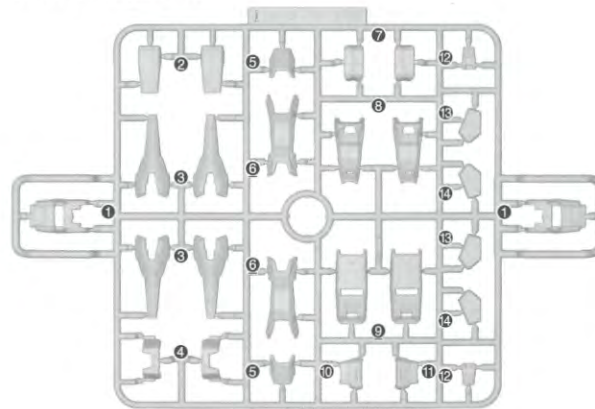
Hパーツ

(ABS樹脂: ABS)



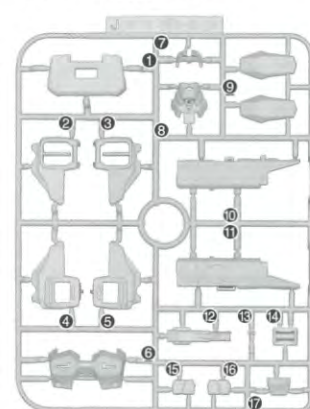
Iパーツ

(スチロール樹脂: PS)



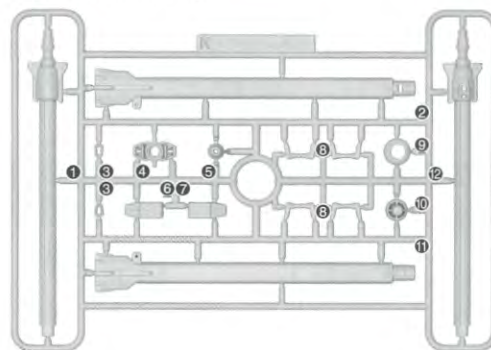
Jパーツ

(スチロール樹脂: PS)



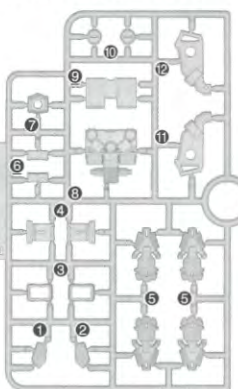
Kパーツ

(スチロール樹脂: PS)

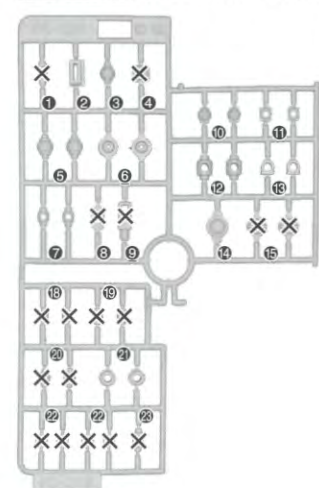


Lパーツ

(スチロール樹脂: PS)



PC-130B (ポリエチレン: PE)



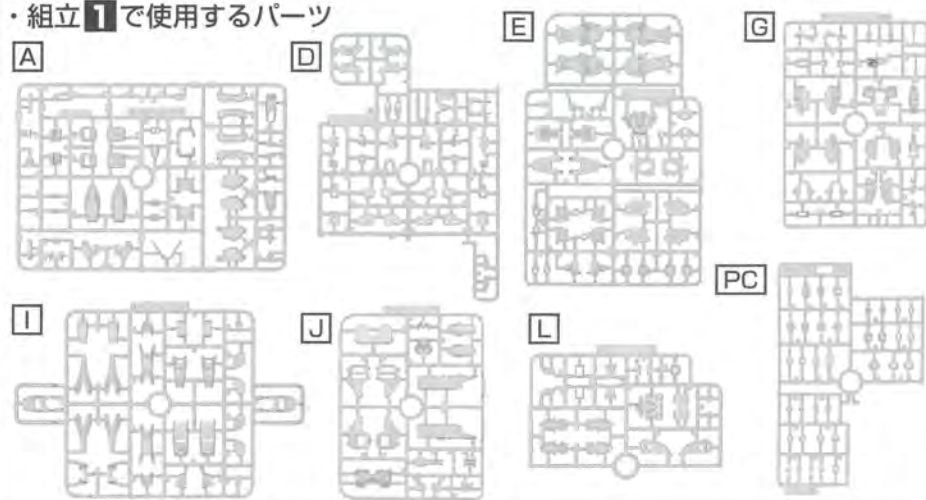
カラーシール.....1枚
マーキングシール.....1枚
ガンダムデカール.....1枚

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

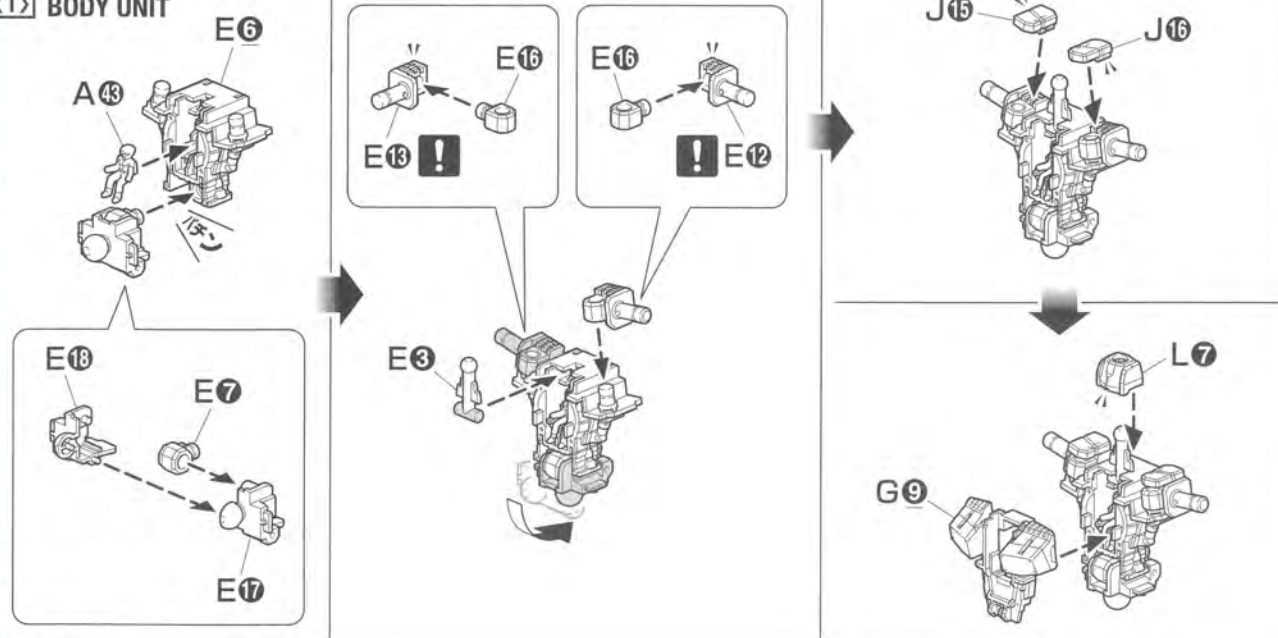
1 BODY UNIT



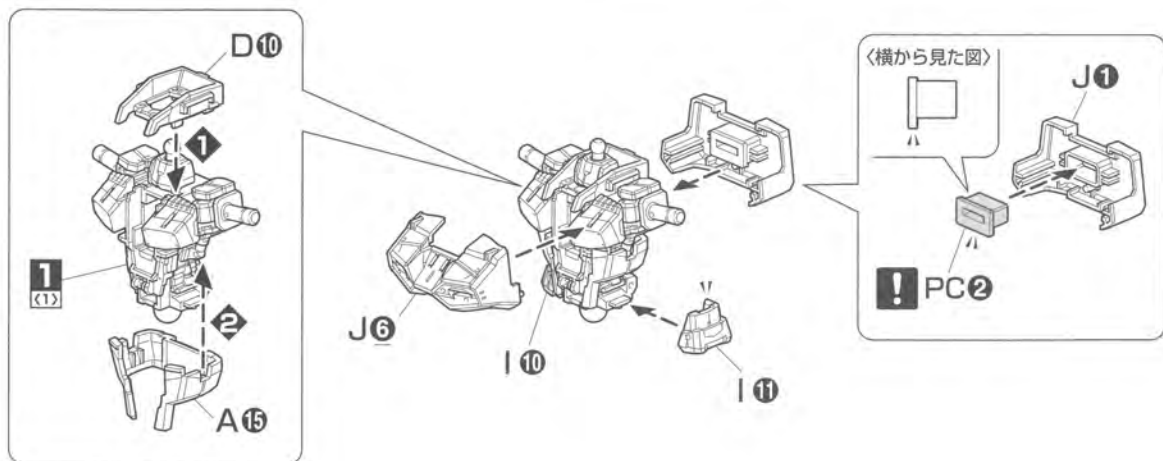
・組立1で使用するパーツ



1 (胸部の組立) BODY UNIT

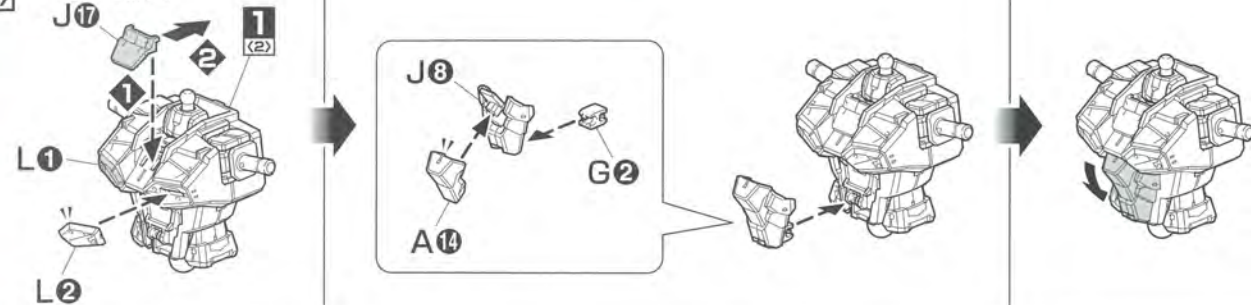


1 (2)

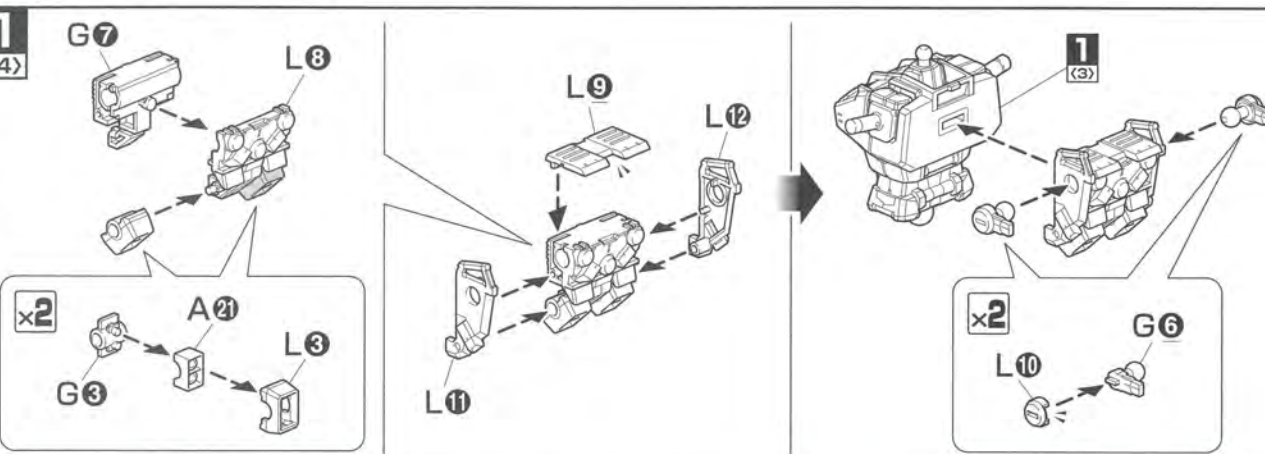


1 (3)

※きれいに切り取ります。



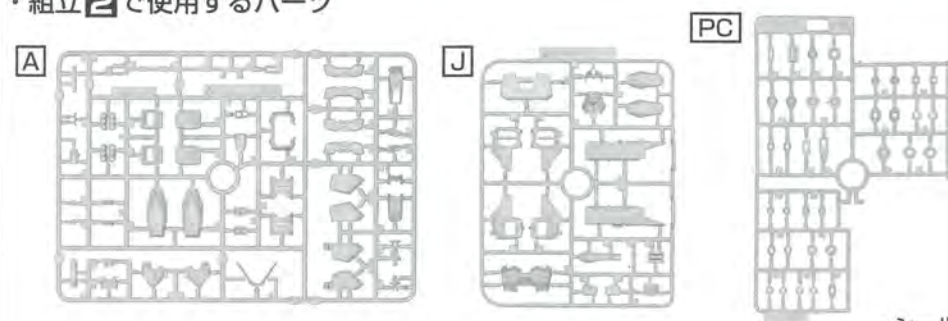
1 (4)



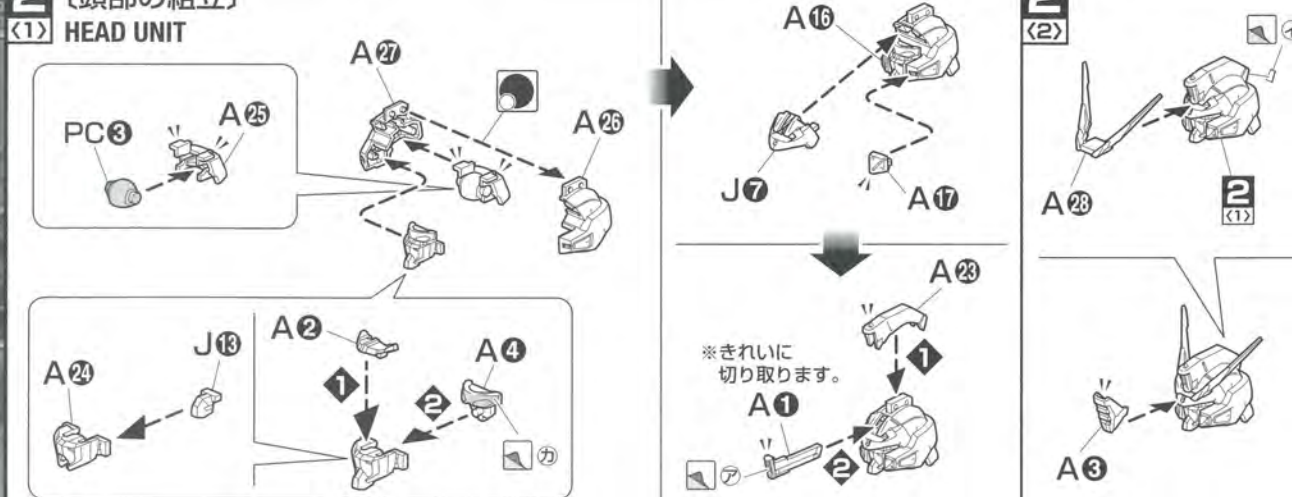
2 HEAD UNIT



・組立2で使用するパーツ



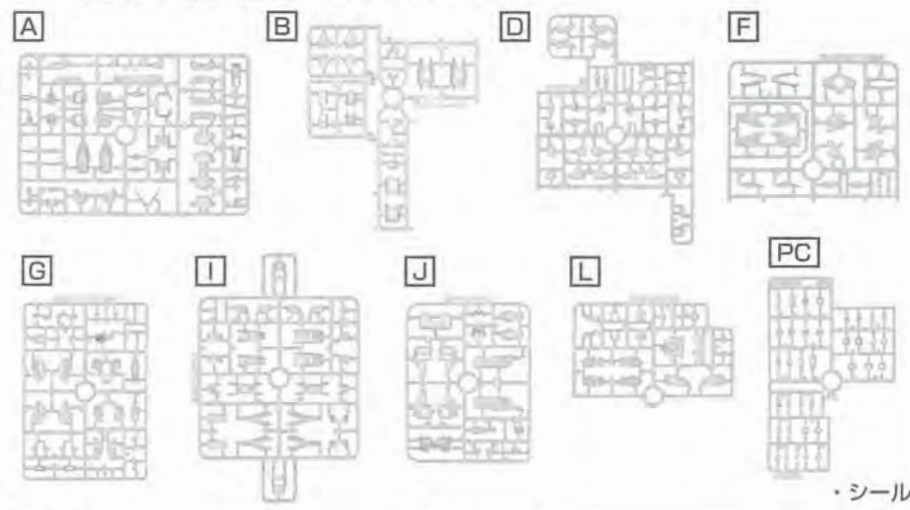
2 (頭部の組立) HEAD UNIT



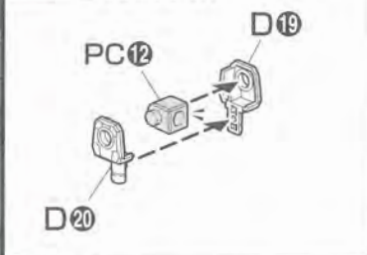
3 4 5 6 ARM UNIT



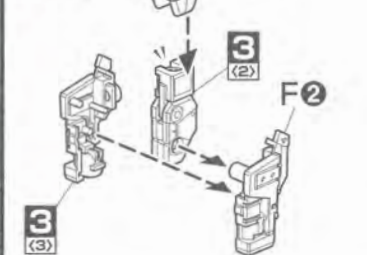
・組立 3・4・5・6 で使用するパーツ



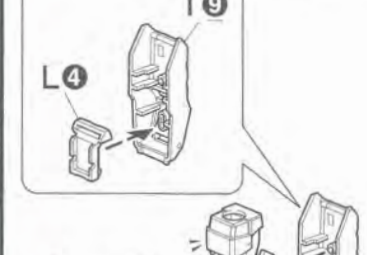
3 (1) x2 腕部の組立 ARM UNIT



3 (2) x2 腕部の組立 ARM UNIT



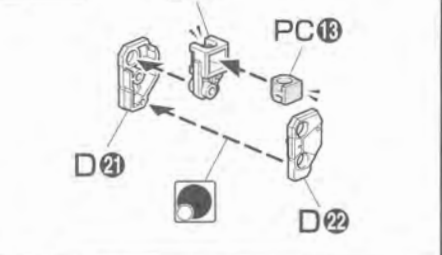
3 (3) x2 腕部の組立 ARM UNIT



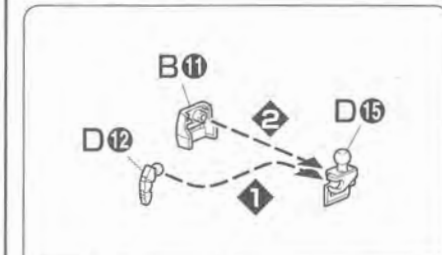
3 (4) x2 腕部の組立 ARM UNIT



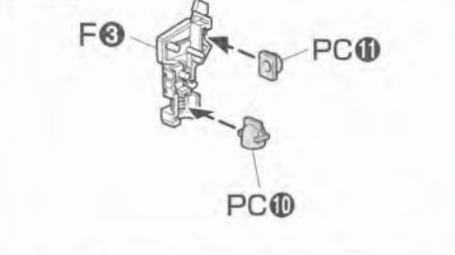
3 (2) x2 右腕の組立 RIGHT ARM



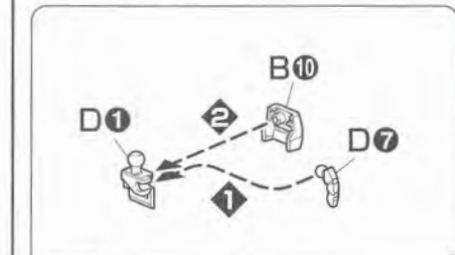
3 (5) 右腕の組立 RIGHT ARM



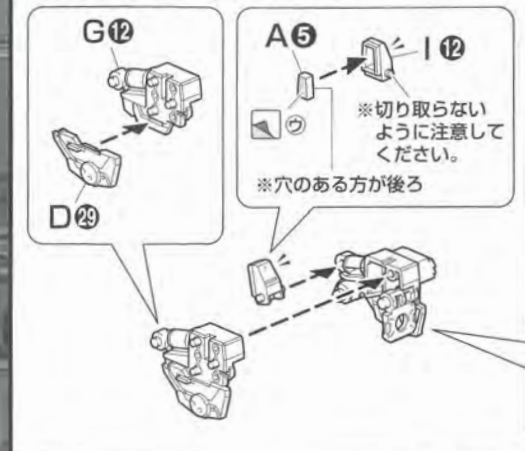
3 (3) x2 左腕の組立 LEFT ARM



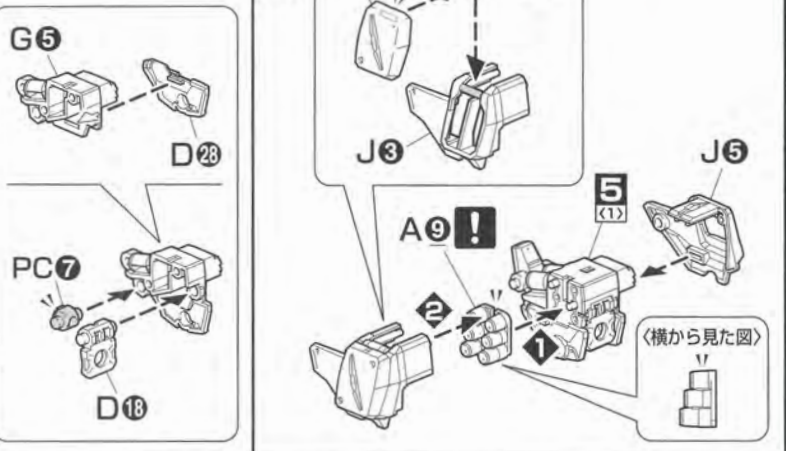
4 左腕の組立 LEFT ARM



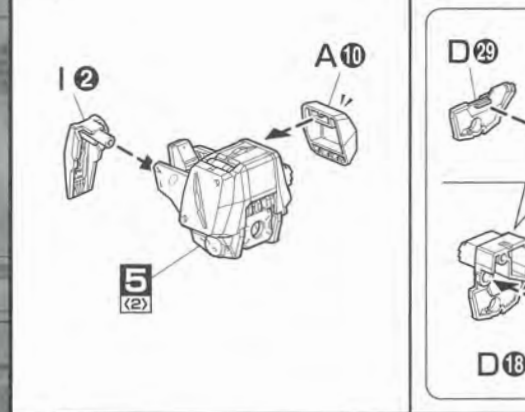
5 (1) 右肩アーマーの組立 RIGHT SHOULDER ARMOR



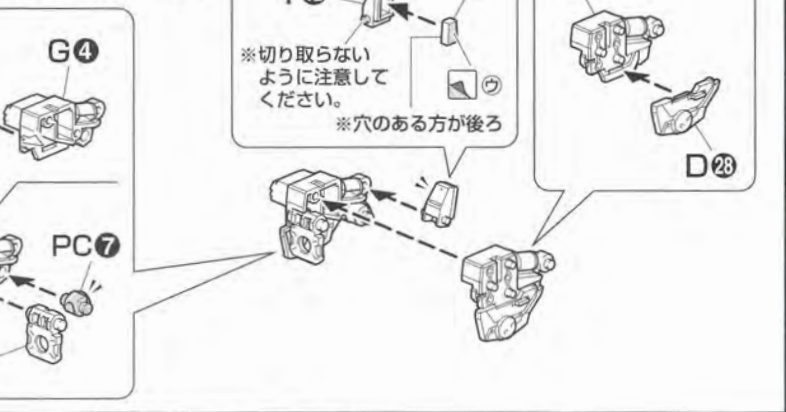
5 (2) 右肩アーマーの組立 RIGHT SHOULDER ARMOR



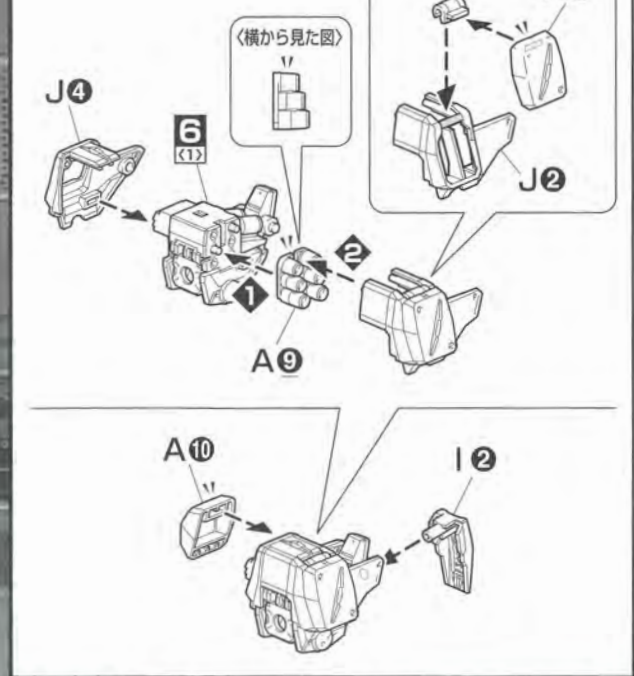
5 (3) 左肩アーマーの組立 LEFT SHOULDER ARMOR



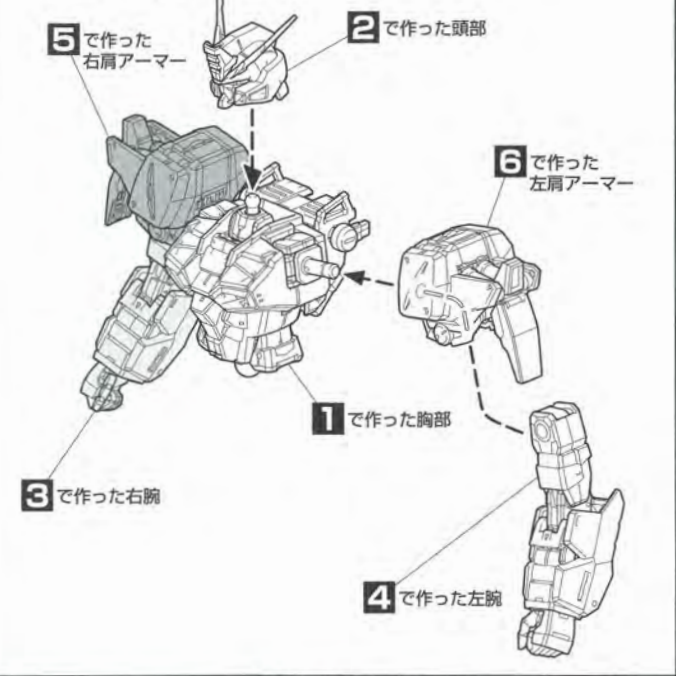
6 (1) 左肩アーマーの組立 LEFT SHOULDER ARMOR



6 (2) 上半身の完成 UPPER BODY



7 上半身の完成 UPPER BODY



■GAT-X103 バスターの誕生

砲撃戦に特化した「移動武器庫」

ヘリオポリスで開発された5機の試作機は、それぞれ想定される運用法が異なっている。バスターに求められたのは、モビルスーツとしての高い機動力を持ちながら、戦艦以上の破壊力を有することであった。ザフトに対しビーム兵器の技術において、一歩リードしていた地球連合は、5機のGすべてに携帯用ビーム砲であるビームライフルを装備した。特にバスターには、威力を高め大型化した94mm高エネルギー収束火線ライフルを採用している。本装備は破壊力では申し分ない性能を持っていたが、消費されるパワーも桁違いに大きかった。これを解決するため、バスターには、本体用とは別に武装用のサブジェネレーターが搭載された。また腰部アームに接続された武装は、他の機体に貸し与えることもでき、移動する武器庫としても運用を想定していた。砲撃戦に特化して設計されたバスターであったが、基本性能の高さから、近距離での格闘戦も十分に行うことが実戦からも証明されている。



▲▲検討用の面稿。各部のディテールが精緻に描き込まれているのが分かる。特に兵装を懸架したバックパックに注目したい。

▲フロント ▲リア

■X-100系フレームの特徴

全てのフレームの基礎となったフレーム構造

地球連合で開発された機体が採用するフレームは、すべてX-100系を基本として発展していったものである。人体を模したX-100系は、GAT-X102、GAT-X103、GAT-X105に採用されたが、これらの機体は大きな括りでは、すべて人型に追加兵装を装備した機体であった。それはあたかも人間の兵士が状況に応じて装備を変え、武器を選ぶのに類似している。第2期シリーズの砲撃機GAT-X131カラミティも、この流れに合った機体であった。一方で特殊改装フレームであるX-200系と、可変フレームであるX-300系は、機体ごとに採用しているフレームが大きく違っていた。第1期シリーズの機体と、第2期シリーズのGAT-X252フォドゥン(特殊機)、GAT-X370レイダー(可変機)では、技術的なつながりはあっても、その構造は異なるものであった。X-100系からの技術流用という点を見た場合、腕や足など人型として共通の機能を必要とされる部分は近いものの、他の部分では独自固有性が強かった。



◀コクピットの内部構造も完全に再現している。サブアームはフレキシブルに可動する。



▲頭部や腕部の検討用の面稿からは、各部のディテールやパーツ形状を見ることができる。



▲左右のサブアームが別々に可動することで、大型の銃火器を構えた力強いポーズが可能となっている。



※画像はイメージです。



▲肩関節は広い可動域を確保。銃火器を構える動作に対応。



▲腰部ジョイントの可動により、ダイナミックなアクションを取らせることもできる。

■武装

砲撃戦に特化した武装群

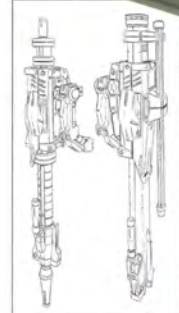
バスターの主武装となるのが、腰部に連結されたサブアームに取り付けられた2門の砲である。右アームは、350mmガンランチャーを装備。これは電磁レールガンであり、電氣的に加速された実体弾を発射する。弾を変えることで様々な作戦に対応した。左アームは、94mm高エネルギー収束火線ライフル。これは大型ビームライフルであり、開発当時、モビルスーツはもちろん、戦艦を含めてもこれほどの破壊力を有するビーム砲は他に存在していなかった。また、特出すべきことに、この2門は連結することで別の機能を持つことが出来た。ガンランチャーを前に収束火線ライフルを後に連結した対装甲弾砲は、弾が広範囲に拡散して面を制圧する。一方、逆に連結した場合は、超高インパルス長射程狙撃ライフルとなり、高い威力を維持したまま、精密射撃が出来た。これを可能としたのは、武装用のサブジェネレーターの搭載であり、連結により威力の倍化を可能としていた。

▼①94mm高エネルギー収束火線ライフル ②350mmガンランチャー。それぞれの組み合わせにより、異なる形態を再現できる。



※画像はイメージです。

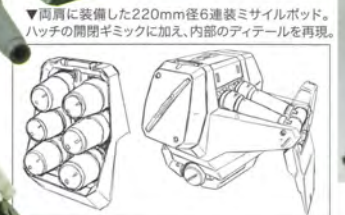
※この商品には「MGバスターガンダム」が1セット入っています。



▲94mm高エネルギー収束火線ライフル(左)と350mmガンランチャー(右)の面稿。ディテールに加え、スライドギミックなども検討された。



◀武器を外した状態のバックパックスラスターやモールドの形状などが描き込まれている。



▼両肩に装備した220mm径6連装ミサイルポッド。ハッチの開閉ギミックに加え、内部のディテールを再現。



▲サブアームと各関節の可動により、超高インパルス長射程狙撃ライフルを構えたポーズも可能。

■5機の「G」の中での役割



装備形態による役割分担

モビルスーツは、装備換装により、戦闘航空機、戦車、戦艦など、既存兵器の役割を担うことが可能であった。バスターは砲撃戦能力を高めた機体であり、運用時は敵から距離をとることが基本となる。同時開発の5機のGの中では、後方からの支援を想定していた。ザフトに奪取された後の運用では、オールレンジを得意とするパイロットであったためか、接近戦を行うことも多かった。バスターの機能を引き継ぎ開発された機体には、再設計機であるGAT-X103APヴェルデバスターや、量産機であるGAT-A01/E2バスターダガー。後継機であるGAT-X131カラミティが存在する。

GUNDAM SEED HD REMASTER

2002年の放送以来、根強い人気を誇る『機動戦士ガンダムSEED』が、Blu-rayになって登場!!



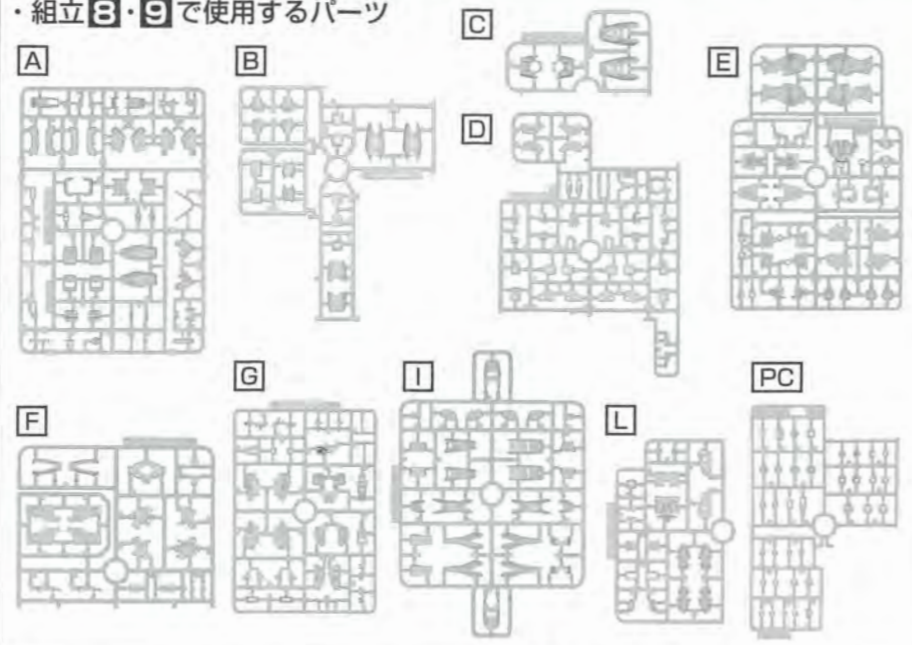
月刊『ガンダムエース』にて『機動戦士ガンダムSEED』リマスターコミック連載が開始。新武装、新エピソードなど、コミック版でしか読めない新要素も満載。緻密に描かれたSEEDコミックの決定版!!



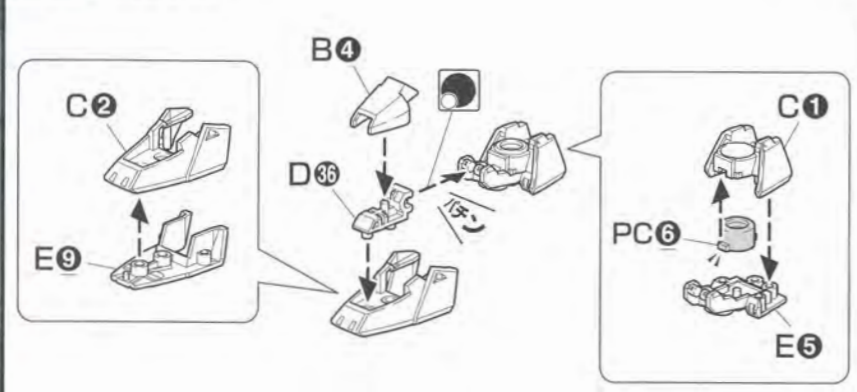
8 9 LEG UNIT



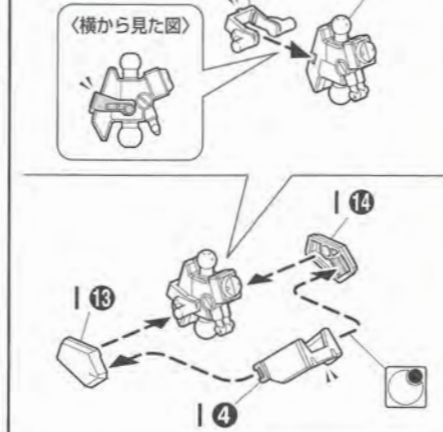
・組立 8・9 で使用するパーツ



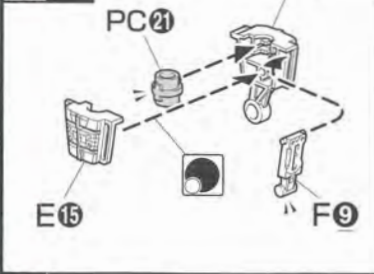
8 (1) x2 脚部の組立 LEG UNIT



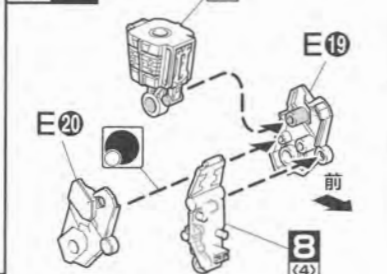
8 (2) x2



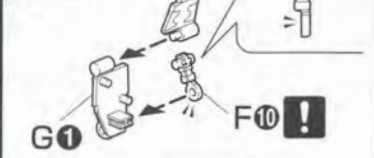
8 (3) x2



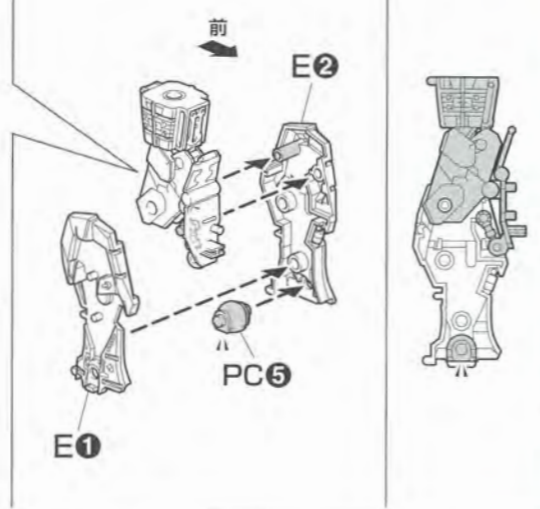
8 (5) x2



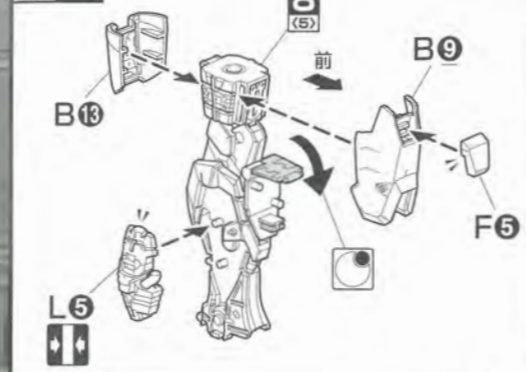
8 (4) x2



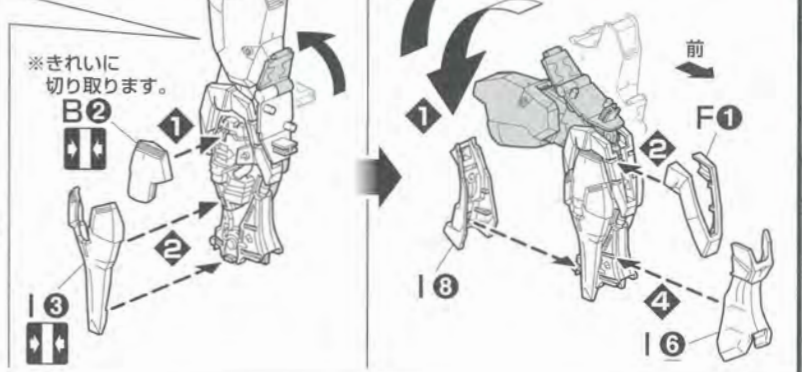
8 (6)



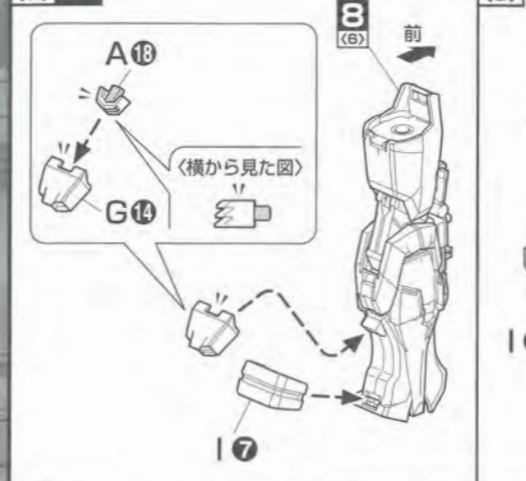
8 (6) x2



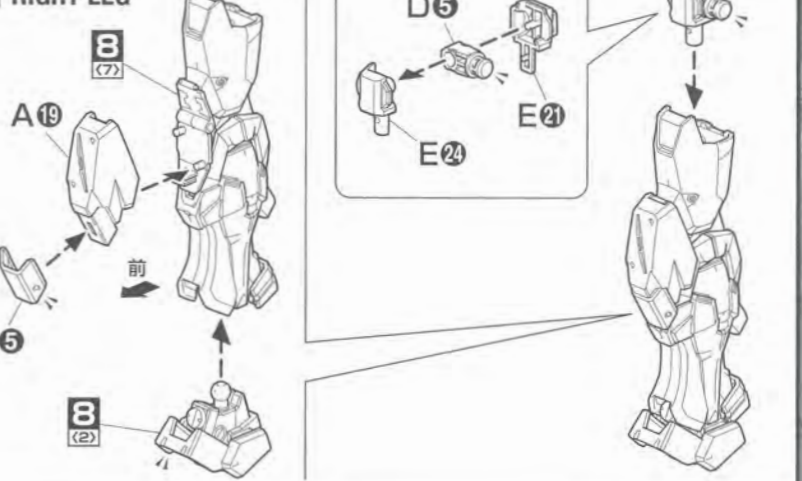
8 (7) x2



8 (7) x2



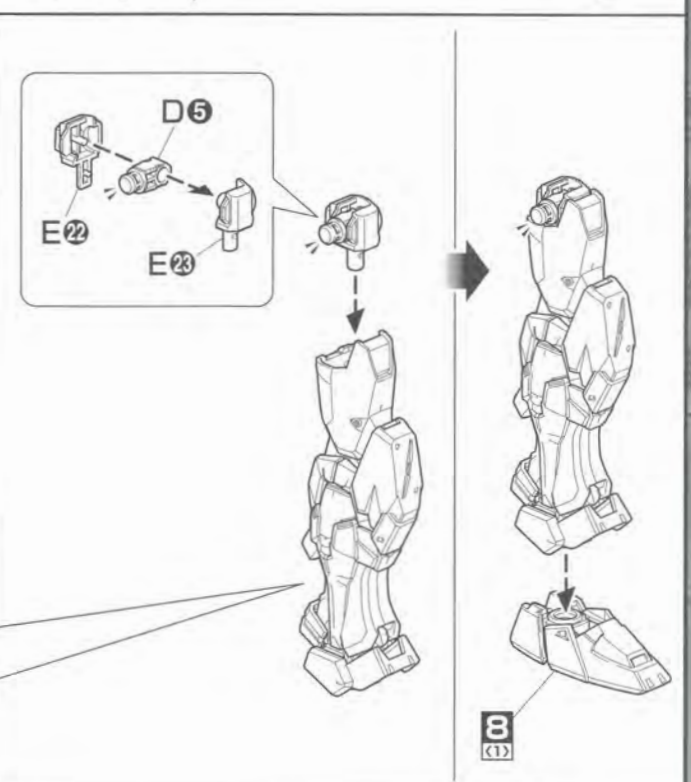
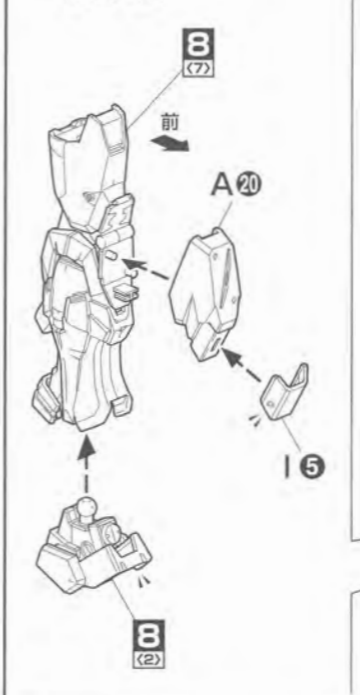
8 (8) 右脚の組立 RIGHT LEG



8 (9)



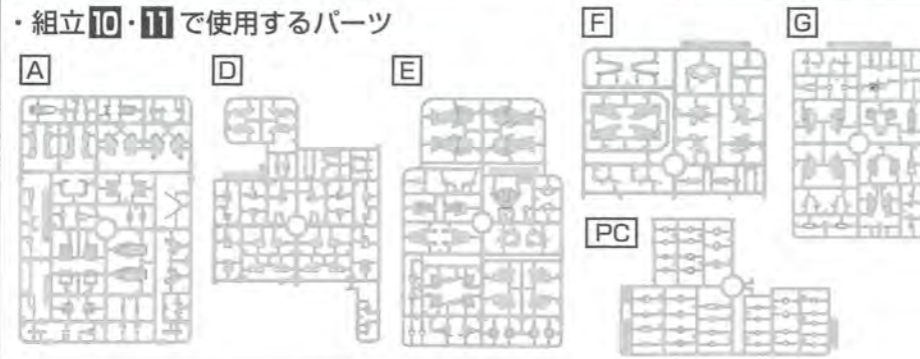
9 (9) 左脚の組立 LEFT LEG



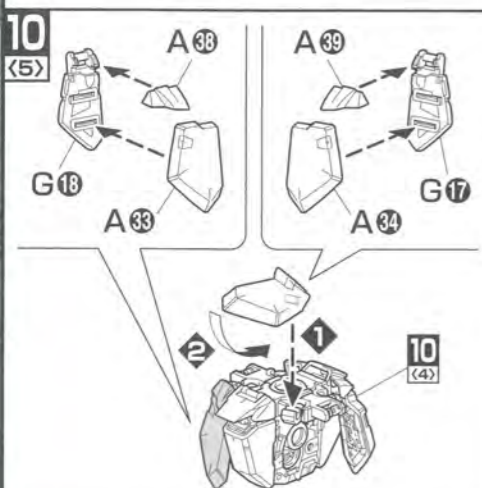
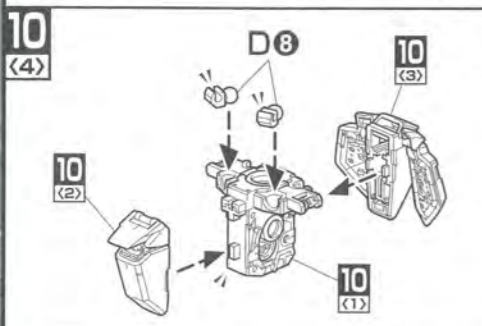
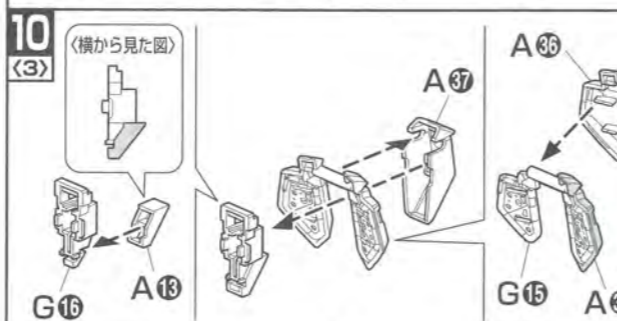
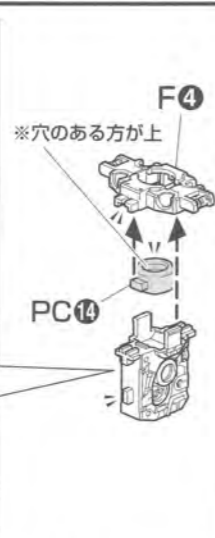
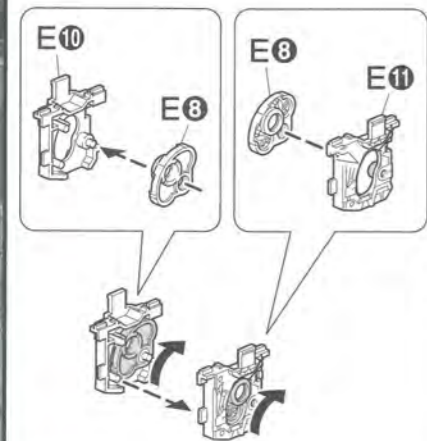
10 WAIST UNIT



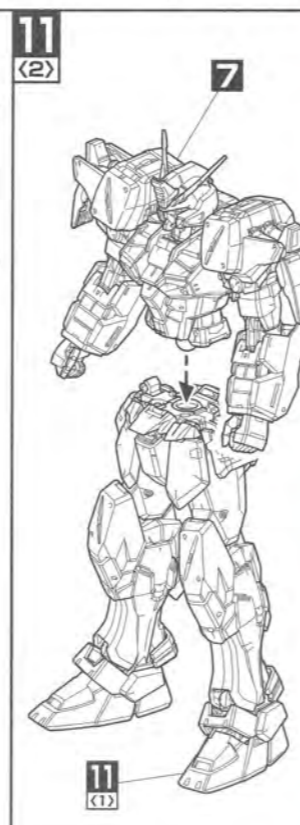
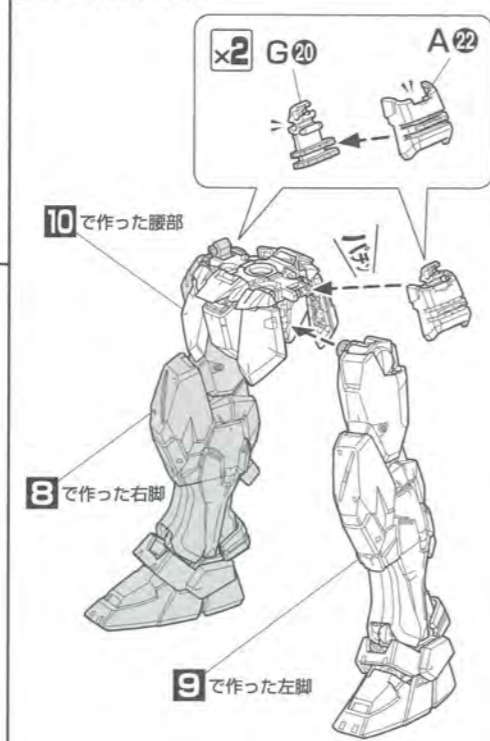
・組立10・11で使用するパーツ



10 (腰部の組立) WAIST UNIT



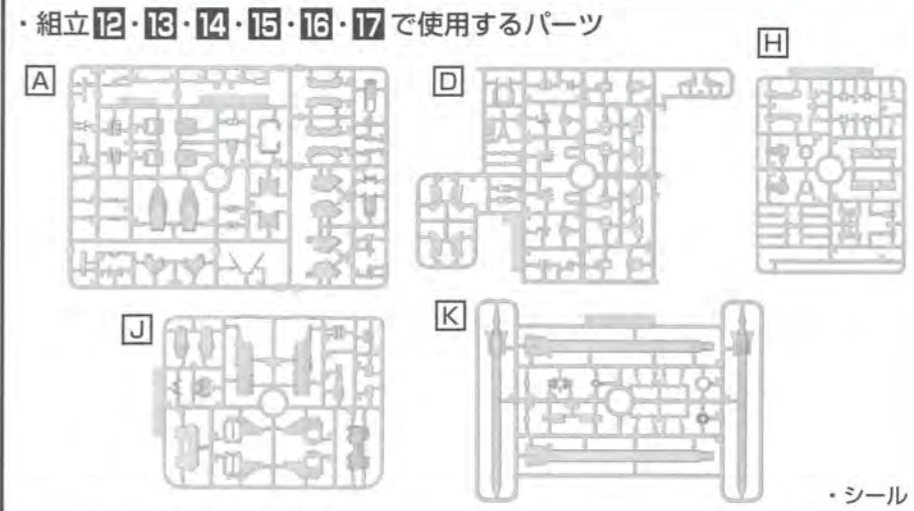
11 (下半身の完成) LOWER BODY



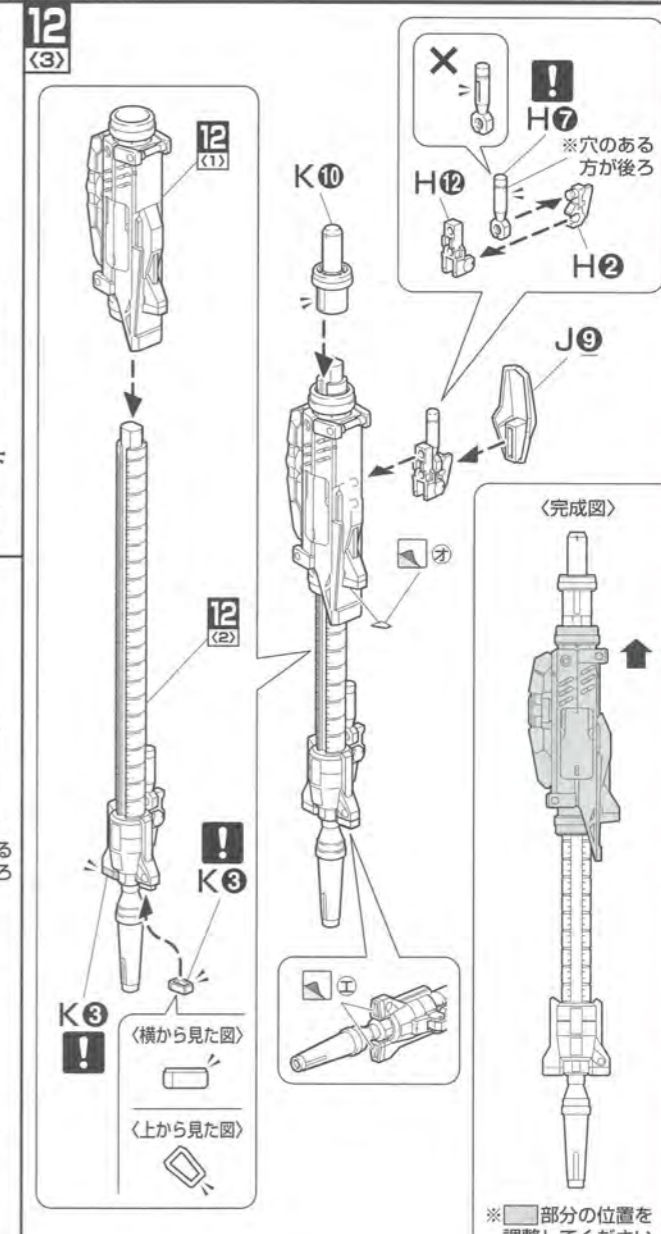
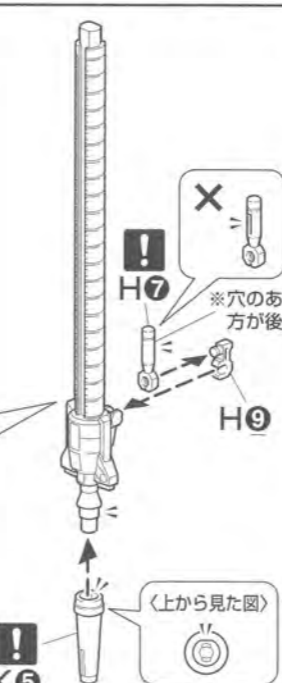
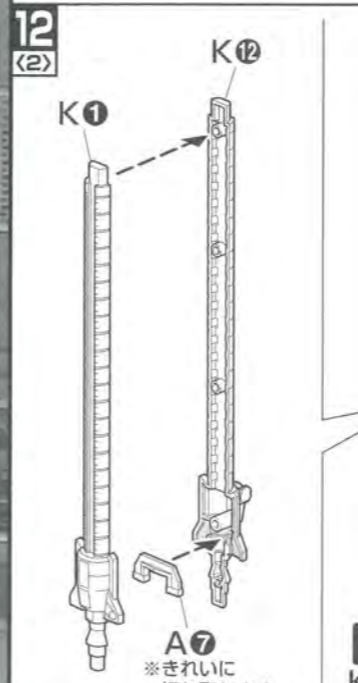
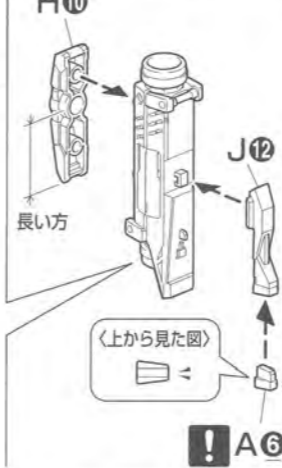
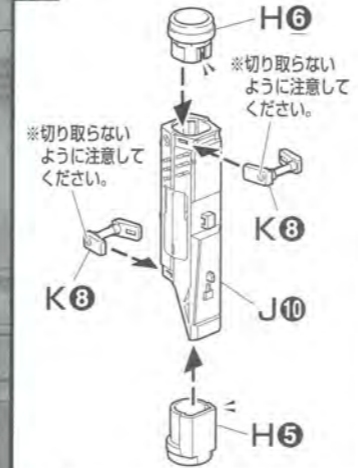
12 WEAPONS



・組立12・13・14・15・16・17で使用するパーツ



12 (94mm高エネルギー収束火線ライフルの組立)



13 [350mmガンランチャーの組立]

13 (1)

※切り取らないように注意してください。

長い方 H10

J10

J14

K8

K2-K11

H7

H9

K4

※穴のある方が前

13 (2)

※下の図を参考にK6を武器本体とH13に取り付けてください。

K6

K7

H13

13 (1)

※部分の位置を調整してください。

13 (3)

※下から見た図

K9

J9

H7

H12

H2

※向きをかえます。

※向きに注意して組み立てる

14

H8

H11

H8

A29

H1

A32

H4

15

H8

H10

H8

A30

H1

A31

H3

16 [完成] FINAL ASSEMBLE

16 (1)

※A6は好きなところに飾ってください。

※説明のため、一部イラストを省略しています。

各ハッチの開け方

16 (2)

※通常時

※脚の可動範囲が広がります。

D9

※バンダイプラモデルアクションベース1 (別売り) を使用してディスプレイできます。

17 [武器の装備] WEAPONS EQUIPMENT

17 (1)

※説明のため、一部イラストを省略しています。

17 (2)

右腕

左腕

※指パーツは外しておきます。

D14

D4

※説明のため、一部イラストを省略しています。

18 <武器の連結>

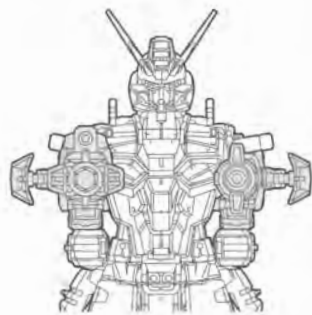
(1) 16の完成状態からはじめます。



※アーム部分を矢印の方向に90度動かします。

※説明のため、一部イラストを省略しています。

<前から見た図>

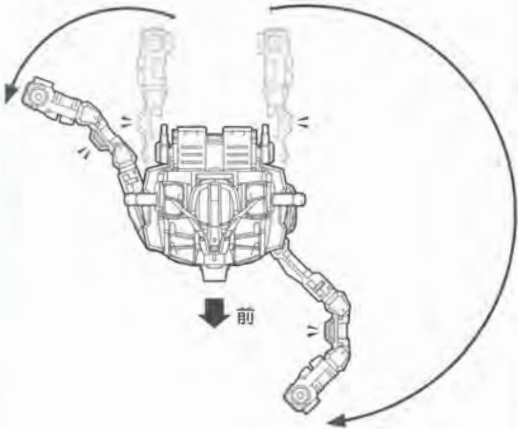


18 <超高インパルス長射程狙撃ライフル>

(2)

※ポージングに合わせて位置を調整してください。

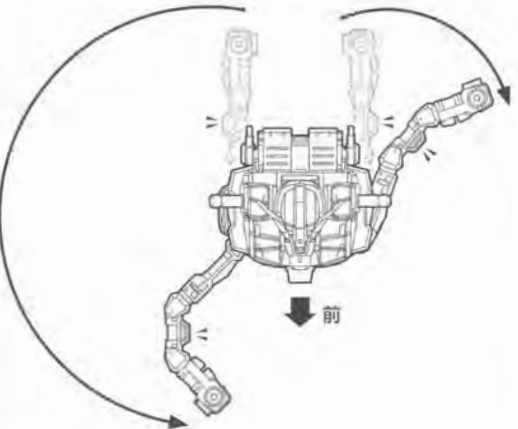
<上から見た図>



※説明のため、一部イラストを省略しています。

<対装甲散弾砲>

<上から見た図>



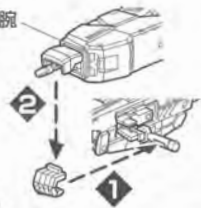
※説明のため、一部イラストを省略しています。

※ポージングに合わせて位置を調整してください。

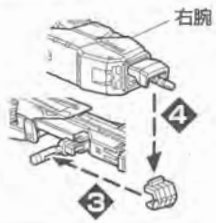
※グリップまでスライドさせます。

※説明のため、一部イラストを省略しています。

左腕



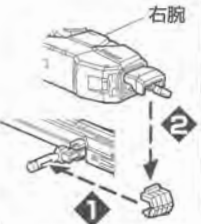
右腕



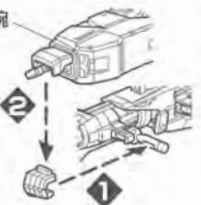
※ポージングに合わせて位置を調整してください。

※説明のため、一部イラストを省略しています。

右腕



左腕



Seal

<シール> 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

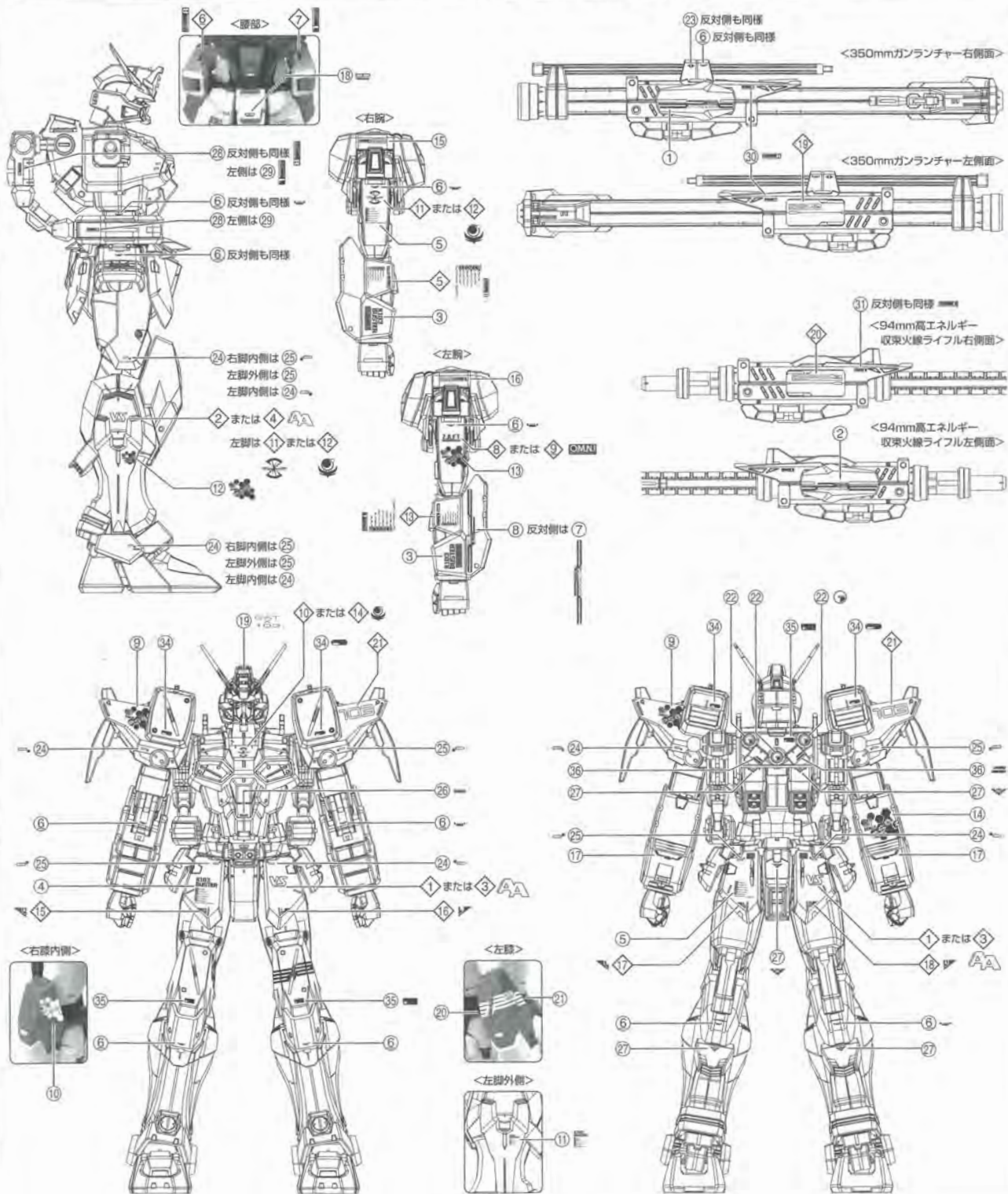
マーキングシールは○に数字
ガンダムデカールは◇に数字で表記してあります。

【例】①.....マーキングシール ◇.....ガンダムデカール

【ガンダムデカールの貼りかた】 P3のガンダムデカールの貼り方を参考に
あせらずゆっくり貼ってください。

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすりまわす。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。